



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社クリエアナブキ
 コード番号 4336 URL <https://www.crie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上口 裕司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 楠戸 三則
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 087-822-8898

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,731	2.1	157	11.6	187	13.2	115	19.0
2020年3月期第3四半期	4,833	1.5	141	13.3	165	2.0	97	1.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 122百万円 (15.7%) 2020年3月期第3四半期 105百万円 (1.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	49.93	
2020年3月期第3四半期	41.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	2,300	1,270	51.9	516.26
2020年3月期	2,146	1,174	51.3	476.26

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,193百万円 2020年3月期 1,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		10.00	10.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	1.7	135	7.6	167	7.8	100	1.0	43.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	2,340,000 株	2020年3月期	2,340,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	27,545 株	2020年3月期	27,473 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	2,312,512 株	2020年3月期3Q	2,312,527 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、依然として厳しい状況が続いております。人材サービス業界に関しては、経済活動の一部持ち直しによる有効求人倍率及び完全失業率に改善の兆しが見られたものの、新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、雇用情勢は先行きの不透明な状況となっております。

このような経営環境の中であって、当社グループでは、事業の継続及び従業員の安全・安心を最優先事項とし、テレワークや時差出勤、オンラインによる登録面談やフォローなどの対策を講じるとともに、国内外の移動を抑制し、会議のオンライン化を進めることにより、事業活動の効率化と経費節減を果たすことができました。

また、コーポレートスローガン「ひとに翼を。」を掲げ、女性の労働参加率の向上、海外人材の活用、障がい者の雇用支援など、あらゆる「ひと」の働き方を応援し、顧客とのパートナーシップにより新たな雇用を創り出すことで、地域社会の課題解決に貢献するとともに収益の拡大に取り組んでおります。なお、ベトナムに設立した「HR ANABUKI VIETNAM CO., LTD.」（非連結子会社）は、海外渡航禁止の影響で2020年10月からの活動となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高が4,731,936千円（前年同四半期比97.9%）と僅かに減少したものの、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の節減により、営業利益は157,858千円（同111.6%）、経常利益は187,802千円（同113.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は115,460千円（同119.0%）といずれも前年同四半期比で増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、社内組織の見直しに伴って、経費配分を変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の営業利益を変更後の当期と同じ条件で算定した数値で比較しております。

各セグメントの営業利益の合計額は447,444千円ですが、全社費用等の調整（調整額△289,586千円）により、四半期連結財務諸表の営業利益は157,858千円となっております。

① 人材派遣事業

当事業の売上高は2,575,895千円（前年同四半期比98.3%）、営業利益は240,953千円（同109.0%）となりました。

当社グループの主力である当事業では、稼働人数減により減収となりましたが、同一労働同一賃金による派遣労働者の待遇改善に伴う派遣料金の単価アップにより増益となりました。新規オーダー数は、増加傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、先行きが不透明となっております。

② アウトソーシング事業

当事業の売上高は1,768,254千円（前年同四半期比97.0%）、営業利益は59,842千円（同61.1%）となりました。

株式会社クリエ・ロジプラスが営む物流関連アウトソーシング事業では、主たる取引先からの受注が減少したことや、一部の受託業務においては予定していた外国人労働者の稼働が入国制限により遅れたことなどから、前年同四半期実績を下回りました。なお、当社単体のアウトソーシング事業は、概ね堅調に推移いたしました。

当社は、株式会社ママスクエアとの間に締結したフランチャイズ・チェーン加盟契約に基づき、「クリエ×ママスクエア高松」及び「クリエ×ママスクエア広島」に続いて、3拠点目となる未就学児の母親を対象とした見守りスペース付オフィス「クリエ×ママスクエア松山」を愛媛県松山市に開設し、2020年10月から事務系業務の請負を開始しております。

③ 人材紹介事業

当事業の売上高は120,797千円（前年同四半期比97.4%）、営業利益は102,060千円（同96.5%）となりました。

収益性の高い当事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により求人数が減少する中で、地域の求職者に対し、営業担当者とキャリアコンサルタントが一体となって仕事や働き方を提案することやコンサルティング力を高めて向き合うことに注力し、雇用機会の創出に努めましたが、僅かに減収減益となりました。

④ 採用支援事業

当事業の売上高は244,769千円(前年同四半期比104.8%)、営業利益は37,564千円(同205.9%)となりました。

株式会社採用工房を中核企業として首都圏や近畿圏で営んでいる当事業については、売上は概ね堅調に推移し、テレワークなどによる交通費等の経費節減により、前年同四半期の営業利益を上回りました。

⑤ その他

再就職支援、研修・測定サービスなど、上記の各セグメントに含まれない事業の売上高は22,219千円(前年同四半期比67.6%)、営業利益は7,023千円(同65.2%)となりました。

研修・測定サービスの売上が、企業活動の一部再開により、持ち直しの兆しが見えたものの、企業の研修実施の減少により、前年同四半期の実績を下回りました。

なお、2020年4月に香川県坂出市に発芽ニンニクの栽培・熟成製造を行うサテライトオフィス「ウエル工房」を開設し、障がい者の法定雇用率の課題を抱える企業向けの採用代行、仕事と働く場の提供及び定着サポートを行う、障がい者雇用支援サービスを開始しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ154,040千円増加して2,300,665千円となりました。これは、現金及び預金の増加(1,108,649千円から1,260,256千円へ151,607千円増)などによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前期末に比べ58,106千円増加して1,029,894千円となりました。これは、預り金の増加(7,761千円から62,534千円へ54,772千円増)などによるものであります。

なお、有利子負債の期末残高は、前期末に比べ34,000千円増加して120,000千円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前期末に比べ95,934千円増加して1,270,771千円となりました。これは、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の変動(751,932千円から844,268千円へ92,335千円増)などによるものであります。

なお、自己資本比率は、前期末より0.6ポイント上昇して51.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在、2020年12月15日付 当社「2021年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました数値から変更はありません。

なお、最近の業績動向については、本資料をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,108,649	1,260,256
売掛金	685,931	653,335
仕掛品	458	21,042
原材料及び貯蔵品	1,044	751
関係会社短期貸付金	50,000	50,000
前払費用	20,006	24,306
未収還付法人税等	-	14,057
その他	2,462	16,167
貸倒引当金	△936	△969
流動資産合計	1,867,617	2,038,948
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	51,769	55,963
工具、器具及び備品(純額)	16,892	14,127
有形固定資産合計	68,662	70,090
無形固定資産		
のれん	2,197	-
ソフトウェア	23,077	24,182
電話加入権	3,724	3,724
無形固定資産合計	28,999	27,906
投資その他の資産		
投資有価証券	2,051	2,317
関係会社出資金	28,457	28,457
繰延税金資産	79,351	57,089
差入保証金	69,351	73,545
その他	2,133	2,308
投資その他の資産合計	181,345	163,719
固定資産合計	279,007	261,716
資産合計	2,146,624	2,300,665

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	16,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	70,000	-
未払金	91,150	81,797
未払費用	413,504	464,201
未払消費税等	122,006	111,756
未払法人税等	41,165	26,749
預り金	7,761	62,534
賞与引当金	80,940	38,826
その他	5,806	5,300
流動負債合計	848,334	841,166
固定負債		
長期借入金	-	70,000
退職給付に係る負債	123,453	118,727
固定負債合計	123,453	188,727
負債合計	971,788	1,029,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	751,932	844,268
自己株式	△6,679	△6,726
株主資本合計	1,100,972	1,193,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	384	568
その他の包括利益累計額合計	384	568
非支配株主持分	73,479	76,940
純資産合計	1,174,836	1,270,771
負債純資産合計	2,146,624	2,300,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,833,158	4,731,936
売上原価	3,841,974	3,756,290
売上総利益	991,184	975,645
販売費及び一般管理費	849,791	817,787
営業利益	141,392	157,858
営業外収益		
受取利息	90	594
受取配当金	19	19
助成金収入	22,381	28,568
その他	2,605	1,380
営業外収益合計	25,098	30,563
営業外費用		
支払利息	621	619
為替差損	26	-
営業外費用合計	647	619
経常利益	165,842	187,802
特別損失		
固定資産除却損	-	20
特別損失合計	-	20
税金等調整前四半期純利益	165,842	187,781
法人税、住民税及び事業税	44,417	43,348
法人税等調整額	15,697	22,180
法人税等合計	60,115	65,529
四半期純利益	105,727	122,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,672	6,791
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,055	115,460

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	105,727	122,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	184
その他の包括利益合計	63	184
四半期包括利益	105,791	122,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,118	115,645
非支配株主に係る四半期包括利益	8,672	6,791

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

当社グループでは、繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損処理等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症による売上高等への影響が、引き続き翌連結会計年度末程度の期間にわたると仮定しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,620,220	1,822,551	124,054	233,460	4,800,287	32,871	4,833,158	—	4,833,158
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,128	—	—	18,450	19,578	32	19,611	△19,611	—
計	2,621,349	1,822,551	124,054	251,910	4,819,866	32,904	4,852,770	△19,611	4,833,158
セグメント利益	221,063	98,005	105,815	18,246	443,131	10,778	453,909	△312,517	141,392

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△312,517千円には、セグメント間取引消去2,246千円、のれん償却費△829千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△313,934千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,575,895	1,768,254	120,797	244,769	4,709,717	22,219	4,731,936	-	4,731,936
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,394	-	-	18,450	20,844	-	20,844	△20,844	-
計	2,578,290	1,768,254	120,797	263,219	4,730,561	22,219	4,752,781	△20,844	4,731,936
セグメント利益	240,953	59,842	102,060	37,564	440,420	7,023	447,444	△289,586	157,858

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△289,586千円には、セグメント間取引消去2,267千円、のれん償却費△552千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△291,300千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、社内組織の見直しに伴い、経費の配分を変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの経費配分方法に基づいて作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。